

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、着実に回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は持ち直しているほか、設備投資は増加している。また、個人消費は底堅く推移しており、住宅投資は一進一退の状況にある。

生産は緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は着実に改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回った。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・持ち直し

5月の公共工事請負金額は、都道府県、市町村は減少したものの、独立行政法人等、国が増加したため、全体では2か月ぶりに前年を上回った（前年比25.8%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2016年 6月	9月	12月	2017年 3月	4月	5月
山形県	▲0.3	33.4	96.6	91.7	▲30.1	25.8

〈資料〉東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資・・・増加

4月の建築着工床面積（民間非居住用）は、製造業、運輸などは増加したものの、電気・ガス、教育・学習支援などが減少したため、全体では3か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲23.1%）。3月短観における2017年度の設備投資計画（全産業）は、2年連続で増加する計画（前年度比39.0%）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2016年 6月	9月	12月	2017年 2月	3月	4月
山形県	2.7倍	▲57.9	47.1	▲29.8	▲37.3	▲23.1

〈資料〉国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2017年3月山形短観） 前年度比、%

山形県	2015年度(実績)	2016年度(計画)	2017年度(計画)
全産業	▲9.8	15.5<▲8.4>	39.0
製造業	▲22.3	3.4<▲29.1>	2.1倍
非製造業	12.1	30.2<27.5>	▲28.1

〈資料〉日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費 …… 底堅く推移

4月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、飲食料品などが前年を上回ったことから、全体では4か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比1.3%）。

家電販売は、季節家電などが増加していることから、前年の水準を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2016年 7～9月	10～12月	2017年 1～3月	2017年 2月	3月	4月
全店	1.9	2.7	▲1.8	▲2.5	▲0.9	3.8
既存店	1.9	2.8	▲1.6	▲2.4	▲1.7	1.3

〈資料〉経済産業省

5月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、8か月連続で前年の水準を上回った（前年比14.1%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2016年 6月	9月	12月	2017年 3月	4月	5月
乗用車 (含む軽)	▲2.4	▲2.0	18.6	7.5	12.2	14.1
乗用車 (除く軽)	10.3	2.8	16.3	12.6	10.2	2.6

〈資料〉東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

(4) 住宅投資 …… 一進一退

4月の新設住宅着工戸数は、持家は減少したものの、貸家、分譲が増加したため、全体では2か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比26.6%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2016年 6月	9月	12月	2017年 2月	3月	4月
山形県	▲6.1	▲7.6	6.2	2.9	▲20.1	26.6
持家	▲9.2	▲6.7	30.1	▲4.1	▲6.3	▲10.4
貸家	34.1	▲8.1	▲14.6	25.4	▲54.8	94.3
分譲	▲45.7	▲11.8	23.3	▲2.3	▲8.5	2.6倍

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・緩やかに持ち直し

3月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、3か月ぶりに低下した(前月比▲5.2%)。業種別には、化学、情報通信機械など11業種は上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイスなど11業種は低下した。

3月の在庫指数(季節調整済)は、2か月連続で低下した(前月比▲0.2%)。

(図表7) 鉱工業指数

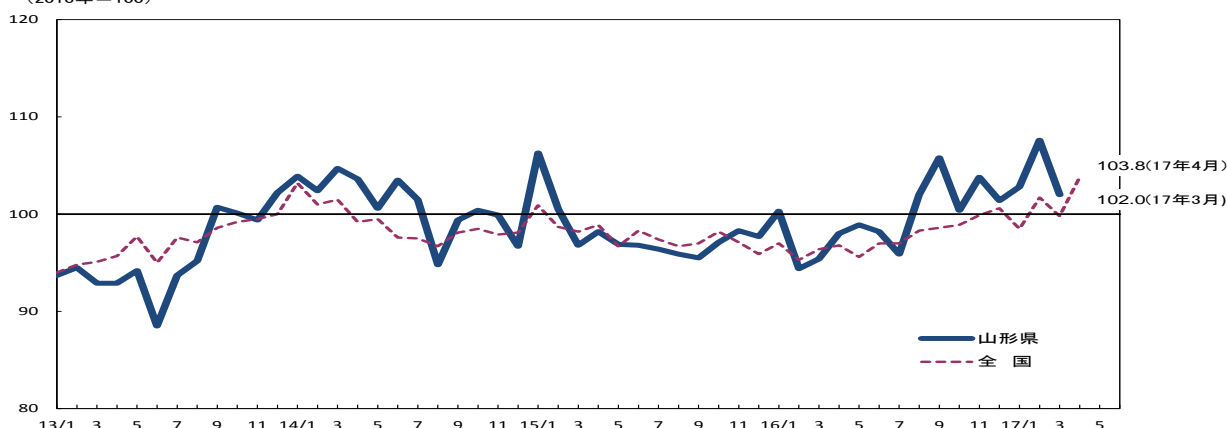
2010年基準

山形県		2016年 6月	9月	12月	2017年 1月	2月	3月
生 産	季節調整済前月比%	▲0.7	3.7	▲2.3	1.4	4.7	p ▲5.2
	原指数前年比%	0.5	11.5	2.8	3.4	11.6	p 7.0
在 庫	季節調整済前月比%	▲2.8	▲1.5	1.3	3.0	▲1.6	p ▲0.2
	原指数前年比%	▲3.3	▲1.4	1.8	2.2	4.3	p 2.7

<資料> 山形県企画振興部

(図表8) 鉱工業生産指数(季節調整済)の推移

(2010年=100)



<資料> 経済産業省、山形県企画振興部

4. 雇用・所得環境・・・着実に改善

4月の有効求人倍率は、1.52倍となった。業種別には、サービス、宿泊・飲食などの新規求人は減少したものの、製造業、金融・不動産等は増加した。4月の雇用保険受給者は、12か月連続で前年の水準を下回った(前年比▲20.1%)。

(図表9) 雇用関係指標(その1)

倍、%、<>内は前年比

山形県	2016年 7~9月	10~12月	2017年 1~3月	2017年 2月	3月	4月
有効求人倍率	1.31	1.38	1.42	1.41	1.44	1.52
有効求職者数	<▲6.2>	<▲4.7>	<▲7.3>	<▲7.3>	<▲7.3>	<▲8.0>
有効求人数	<2.6>	<11.2>	<6.2>	<7.5>	<6.2>	<8.2>
完全失業率	2.2	r 1.7	2.1	—	—	—
雇用保険受給者	<▲6.6>	<▲3.1>	<▲12.5>	<▲10.7>	<▲12.5>	<▲20.1>

<資料> 厚生労働省、総務省、山形労働局

(注) 有効求職者数、有効求人数、雇用保険受給者の四半期データは、各四半期末の水準。

3月の常用雇用指数は、前年並みの水準となった（前年比0.0%）。業種別には、宿泊・飲食、教育・学習支援などは前年の水準を上回ったものの、卸・小売、建設などは前年の水準を下回った。

3月の所定外労働時間は、3か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲4.2%）。業種別には、建設、学術研究等は前年の水準を上回ったものの、運輸、宿泊・飲食などは前年の水準を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2016年 6月	9月	12月	2017年 1月	2月	3月
常用雇用指数	▲0.2	0.1	0.8	0.3	0.4	0.0
所定外労働時間	3.9	▲3.7	▲6.1	0.4	1.4	▲4.2

〈資料〉山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

3月の現金給与総額(名目賃金指数)は、製造業、サービスなどは増加したものの、医療・福祉、運輸などは減少したため、2か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲2.4%）。

3月のきまって支給する給与は、3か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲1.3%）。

(図表 11) 所得関係指標 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2016年 6月	9月	12月	2017年 1月	2月	3月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.7	0.1	0.1	3.2	▲0.6	▲2.4
きまって支給 する給与	▲1.6	▲1.5	▲1.4	0.9	0.1	▲1.3

〈資料〉山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

5月の企業倒産(負債額10百万円以上)は、件数(5件)、負債総額(5.2億円)とも前年(6件、11.1億円)を下回った。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2016年 6月	9月	12月	2017年 3月	4月	5月
件数	4	5	2	4	1	5
負債総額	3.8	16.9	32.5	4.2	1.0	5.2

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回った

4月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った(前年比0.9%)。費目の内訳をみると、保健医療は前年を下回ったものの、光熱・水道、生鮮食品を除く食料などは前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2016年 6月	9月	12月	2017年 2月	3月	4月
総合	▲0.6	▲0.6	0.3	0.4	0.8	0.9
生鮮食品を除く総合	▲0.5	▲0.6	▲0.1	0.5	0.9	0.9

〈資料〉山形県企画振興部

7. 金融

4月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金を中心に前年の水準を上回った(前年比1.2%)。

4月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移したほか、企業向けも増加したため、全体では前年の水準を上回った(前年比2.0%)。

この間、4月の貸出金利は低下した(前月比▲0.006%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2016年 6月	9月	12月	2017年 2月	3月	4月
実質預金+CD (末残前年比)	1.2	1.0	0.9	1.0	1.0	1.2
貸出金 (末残前年比)	3.6	3.7	2.8	3.1	2.4	2.0

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注) ・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2016年 7~9月	10~12月	2017年 1~3月	2017年 2月	3月	4月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.020	▲0.015	▲0.013	▲0.001	▲0.009	▲0.006

4月末水準
1.078%

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注) 山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以 上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004